



今月の記事

2013の愛の園

ユニット便り

国家試験合格

今月の愛の園



園長
武藤直二

2013年度の愛の園

4月を迎え、新しい出発や出会いの季節となりました。愛の園も1日の全体職員会をもって新しい年度がスタートしました。入居者・利用者の皆さん、ご家族の皆さん、ボランティアはじめ関係いただいている皆さん、今年度もよろしくお願いたします。

今年度の愛の園は、①「キリストの愛を以って互いに仕える」神愛会の理念をしっかりと継承すること、②ユニットケアと認知症ケアの充実のため、部署やユニット毎に課題を決めてよりよいサービスを目指すこと、③職員の研修や資格取得に努力し、ことに新採用者の研修を充実すること、④家族の会、後援会またボランティアの皆さんと協働することの4つをテーマとしています。

そして、これらを行っていくキーワードとして「丁寧さ」を掲げました。辞書には『注意深く入りであること、細かい点にまで注意が行き届いていること、動作や言葉遣いが礼儀正しく心がこもっていること』と書かれています。私たちの働きが何事においても「丁寧」であるように

掛けていきますので、お気づきのことがあればどうぞお声かけください。

4月から3名の介護職員、1名の清掃職員が愛の園の働きに加わりました。また、介護職員6名が介護福祉士国家試験に、看護職員1名が看護師国家試験に合格しました。ユニットケアを推進するリーダーの養成のため、5月のリーダー研修に1名の派遣が決まりました。これから一人一人の職員がより専門性を発揮できるよう研鑽に努めていきます。

日頃のお支えに感謝し、併せて愛の園の働きへの変わらぬご支援をお願いいたします。



全体職員会で宮崎理事長の講話を聴いています 4/1

ユニット便り 9ユニット

認知症の方が多く生活されていますが、皆さん優しく思いやりのあるユニットです。

無類の歌好きな入居者の方々は思い思いに口ずさみジャンルは様々です。余暇の楽しみにカラオケ大会が始まります。職員のユニークな司会と共に盛り上がり、歌うことの感動と懐かしい曲に泣き笑いです。また職員のキーボード演奏が始まると周りに自然に集まり、笑顔で大合唱が始まります。時にはマラカス、鈴、手拍子と合奏部になり、皆さん思い

を込めて頑張っています。最後に串本節、ストン節を歌い、和やかな楽しい時間が過ぎてゆきます。

<日々を大切に思いやりと助け合いに感謝。>

夕方、「家に帰りたい。」と泣いているAさん。Bさんはその手を取り「泣いたらあかん。私もここで一緒に泊まるんやよ。」との優しい言葉かけに笑顔が戻り、微笑ましく見守りました。体調が優れず休んでいた職員に、文字盤を使って「大変な仕事、体に気を付けてね。」との思いに恐縮します。毎朝お部屋をお訪ねして挨拶を交わし、「お兄さん、お姉さん、何時もお世話してくれてありがとう。」の言葉に一日が始まり学ぶことが沢山です。

お部屋でゆっくり過ごしたい方、静かに俳句を詠う方、ラジオを聞かれる方、お花の好きな方、それぞれの趣味、過ごし方、暮らしがあります。お一人お一人に寄り添い、目線を合わせて支援させていただきます。

新たな年度がスタートしました。ユニットの年間目標を目指して職員一同頑張ります。

黄水仙 手引きの個室 灯りけり
配膳車 カタコトと着く 春菜盛り
山笑う 麓に外材 積み上げて

9ユニット 凡さんの作品



桜と菜の花に囲まれて笑顔がこぼれます 3/31 市ノ瀬にて



合格しました!! 介護福祉士 & 看護師



田浦 望 (介護福祉士)



中山佳寿美 (介護福祉士)



谷口政人 (介護福祉士)



吉本さやか (介護福祉士)



太田智之 (介護福祉士)

「キリストの愛を以って
互いに仕える」

社会福祉法人神愛会
特別養護老人ホーム愛の園

〒649-2103
和歌山県西牟婁郡上富田町
生馬 316-56
TEL (0739)47-1234
FAX (0739)47-4329
ainosono@shinai.or.jp

ホームページもご覧ください。
Web サイト アドレス:
<http://shinai.or.jp>

介護福祉士試験は範囲が広く、どうやって勉強していけばいいかわからず挫折しそうにもなりました。そんな時ユニットの介護福祉士の先輩から「自分の苦手とする部分を声に出しながら読んでいくといい。介護過程など基本は仕事でしている事なので入居者の方々を想像したらわかりやすい。」とアドバイスを受け、とても参考になり役立ちました。今後この資格を活かしていきたいと思います。(田浦 望)

勉強を始めた頃は、問われている内容や専門用語が全く分かりませんでした。だからゆっくり問題を読むことや勉強することに慣れるようにしました。内容が分かってきたら知識を増やしていく方法にしましたが、法律や医学が苦手な度ノートに書いても覚えられませんでした。だから合格通知が手元に届いたときは本当に嬉しかったです。合格を機にさらに自己研磨に励んでいきたいです。(中山佳寿美)

昨年2次の実技試験で不合格となったので、今年は絶対に合格する、という気持ちで頑張りました。筆記試験はなんとか合格し、実技試験は緊張のあまり何をしたらいいのかほとんど覚えておらず合格したのが不思議なくらいです。実技試験前にはユニットリーダーに練習を手伝ってもらい、同僚職員にも励まされ皆の助けで合格できたのだと思います。これからもステップアップしていけるよう頑張ります。(谷口政人)

参考書で1日2時間、社会保障など理解しにくい科目は4時間ほど机に向かう日もありました。日々の業務の中で勉強した知識を再確認する機会にもなりました。実技試験には丁寧で

分かりやすい声掛けと残存能力を生かした介助が重要だと先輩にアドバイスしていただき、本番では意識して実践することが出来ました。資格を活かせるよう常に学び続け、より専門性を高めて、目上の方の介護をさせて頂くという心構えは変わらず、安心して暮らせるようケアに当たっていききたいと思います。指導し励ましてくれた先輩に感謝いたします。(吉本さやか)

私は筆記と実技共に試験を受けました。許される時間の中でコツコツと勉強を積み重ね、また実技試験に向けて園内での実技練習に参加し、日々の仕事の中でもイメージを持ち試験に備えました。当日は緊張して難しく感じ、試験終了後はもう少し奥深く勉強しておけばよかったと反省しました。これからも引き続き勉強に励み、仕事に活かすことが出来るよう日々努力していきたいです。(太田智之)

筆記試験に合格後の実技試験では緊張のあまり思ったようにできず、もっとこうするべきだった、あんな風にすればよかったと後悔が残り、合格できるか不安で3月28日の合格発表まで落ち着きませんでした。自分の受験番号が表示されているのを見た時は嬉しさとともにホッとした気持ちになりました。これまで以上に入居者の皆さんが快適に暮らせるようケアの向上に努めていきたいです。(洞 知里)

准看護師として25年間勤めていましたが、正看護師になりたいという気持ちがあり、仕事、勉強、家事の3つをこなすことができるか不安を抱きながらも、3年前に看護学校へ入学しました。課題レポートの提出に追われる毎日で大変でしたが、合格発表で自分の番号を見た時「ヤッター！」と友人と抱き合っていました。年齢を重ねての学生生活で苦しい時期もありましたが、充実感、達成感も得られ、長年の夢であった正看護師の免許を取得できました。ここまで頑張れたのは上司、先輩、家族、友人の応援と協力があり支えてくれたおかげだと思っています。ありがとうございました。(仁木和子)



洞 知里 (介護福祉士)



仁木和子 (看護師)

4~5月の愛の園

- 11(木) やまびこ会
- 14(日) 日曜礼拝 ギター演奏会
- 17(水) 手芸サークル
- 18(木) やまびこ会
- 19(金) 社協ボランティア来園
- 21(日) 日曜礼拝
- 23(火) ひまわり会
- 24(水) 歯科診療
- 25(木) やまびこ会
- 28(日) 日曜礼拝
- 30(火) マリア会
- 2(木) やまびこ会
- 5(日) 日曜礼拝

編集者から

先月、私が6年間を過ごした小学校の閉校式が行われ、137年の歴史に幕を閉じたと地元の新聞記事を読みました。今年度から近隣の小学校と統合し、校歌や校名を変更するそうです。

私の祖母や父親も通い、慣れ親しんだ校名、校歌が無くなってしまふのは寂しい気もしますが、児童が少なくなり、時代の流れで仕方がないのかなとも思います。

後日届いた閉校記念誌には懐かしい風景や写真が載っていました。勉強もせず毎日運動場や山や川で遊び、楽しく過ごしていたことを思い出しました。(I)